

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月19日

北海道運輸局

協議会名: 日高地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果
道南バス株式会社	日高沿岸線①	<ul style="list-style-type: none"> ・運行情報の提供や啓発・周知活動等を継続して実施。 ・自治体と連携し自治体主催で富川市街地複合施設でバスの写真展を実施。 ・JR日高線ダイヤ改正や運転手不足などを受け、バス運行ダイヤの見直しや市町補助のあり方について関係市町と協議を実施。 ・運転手不足を受け自治体と共に、バスの運転手を確保するため、運転手体験等の活動を実施。 	A 事業が計画に位置づけられた数値目標に対して概ね適切に実施された。ただし、運行内容の変更等において、事業者と自治体との変更における情報共有のあり方について改善の余地がある。	A 公共交通の利用者数は目標「263,660千人以上」に対し「309,475千人」であった。	今後、関係町と連携して運転手確保に取り組む。バス運転手不足に伴い、維持が難しい路線については、関係町と協議し対応を検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり事業は適切に実施されている。 ・一部の目標値も達成することができなかったが引き続き、地域の関係者が連携して、貨客混載・路線再編・観光需要の取込・各種利用促進策などの地域間幹線系統における乗合バス事業の生産性向上に取り組むことを期待する。 ・また、上記取組にあたっては、取組効果を把握して、収支改善に資する取組となるように、適宜見直しを行うことを期待する。
				A 公的資金が投入されている公共交通の収支率は目標「32.6%以上」に対し「37.1%」となった。		
ジェイ・アール北海道バス株式会社	日勝線①など全2系統	<ul style="list-style-type: none"> ・運行情報の提供や啓発・周知活動等を継続して実施。 ・自治体と連携し自治体主催のイベントにおいてバスの乗り方教室や富川市街地複合施設でバスの写真展を実施。 ・運転手不足を受け自治体と共に、バスの運転手を確保するため、運転手体験等の活動を実施。 	A 事業が計画に位置づけられた数値目標に対して、適切に実施された。			